のである、伊勢・即宮急拝の道す

も一た月經でも脱かれるものは常

を必要としたのである。そして初

總力聯盟の改組斷行

るものは既に総督が科明して止字

が激災の関係上額督府指導各無成

月一日始政紀念日の住き日をドレ 錬成の効着々學がる

常回が梁の大

一個ならないのである。 織的にいる 国教が教授されるのである。

中であるが新秋には関所され をみた、別練所所在地は目下 節を長くして待つたが一と月經で 風俗の掛けるであらう続理納領を

ま踏毀するといふのであった、然

を明示したのである、弦に至って

いては南川総督の行き方をその京

W解釋的大命を採して以來介日 | 國際の本強誘領がいはれて來にの | いった熱心さである

ままでようか。例如りたがより、図二千五百萬は龍百したのであるこのころから漸く半島。注任官民図二千五百萬は龍百したのであるった熱心さである。

まづ留を打ち削つて然るのちに新

現の下に如何にして鯱成の質が縁

同保安課長などの職題列の爲入

ことによって强く高い継手をる日 一年また一年と成月を阻してゆく方法として採りあげられた勝敗は くかにあらうが、築圏を飲成する

これが秘格の

「國體本義の透徹」

紅鉛したものであったらう、修修

修養錬成を徹底的に實踐

成鍊民皇

六時間の國體論講義

岬事にて海取の上に留せさせ給る整備のほどは他に拠き極みであるが、 れた、海軍大學校、大本懲海軍部への行器は去る昭和十五年五月以來大馬亞殿第下初の 一あらせられ、決脳下帷幄の機筋に登進、夙夜崩跡する大本営脂幣組らを親しく徹はせら 2項の第一級に掛立つ海の麒麟の卒頭式に栽臨、なは起頭の御途次大本然海田部じも行(東京衛祖)大元誠麾下には二日海頭大規模に行端・毀くも瀬必滅に見蔵艦闘する無数

庭山あらせられた。
展しく御際政遊はされ、

図要概過経戰作区地岸對昌宜

嶋田海祖、及川核長以下州員の一

【完】

府の機構改革がなされた。十一月

兵となっては絶忠

この時は 融密もまた 一錬成員と

義務教育廿一年から

のだ、職権の真に目すると

日各局跳の場合につれて新たに

た、次いで行政開発化に伴ふ総督 | は概力結集、生産増展は期してま | ある

類、勅、秀住官 などに 拜謁仰の衛先導で便殿に入词、建俊の

四、岡田航一兩海軍少佐、恩陽の

かろ

下陛帥元大

海軍大學校 大本營海軍部へ行幸

には便殿にて御少憩の御のも同り 同十一時四十五分大本營海軍部に

主なる鹵獲品 船舶約一萬六千トン、各種火一三百、俘虜五千九百二十三

を達成し各部隊は 夫々原態勢に復歸せり、

六月一日迄に、判明せる 本作戦の 綜合戦果次の

(ロ)我方の損害 戦死二百三十七名 ・ 統二百五十九挺、小銃二三五百二十三挺 ・ 納一萬六千トン、各種火砲五十門、重輕機㈱

二百、俘虜五干九百二十三 | 千九百二十七挺 | 千九百二十七挺

(ロ) 我方の損害

卒業式に親臨

海軍部幕僚らに賜餐

ならびに共産軍の殲滅酸を減行中一主力および第十集盟軍(職長王敬

常にわたる江南の山野に敵重墜軍 | 孫漢仲の

製造西北地區より 宜島国岸地區 一九日以降南東大阪區司令長官代理 軍に対して果取状を選挙作り取る登場の主義を表して果取状を選挙作取る事業を表して果取状を選挙作取る事業を表して果取れたのは必要

潰え去つた蔣介石線

阿部

- 臨親に式業卒校學大軍海下陛帥元大 に剛部派裁の名をもつて深厚なる

本元郎の國際に帰し、留を代表し 京館店】繁養政治台では故川 郷前に贈呈

議案を事前審査

貴衆兩院の協力態勢

開院では三日間の短期職質におい 説器も二日公布されたので、

【東京館品】政府は第八十二議會一決定し、いよく、四時議會召集の

神經痛に 此の良薬

丘陵で交戦

今部は一

敵船五十餘隻の

**卜江作戰 戊成功** 

郷き去る〇〇日陸軍〇〇水上部隊 (湖北前線〇〇二日间型) 海軍部 陸軍水上部隊の殊勳

ロに及ぶ下江作服を開始、支那事は長江の御流を願つて約百三十キ 米航空司令官豪語

に対しては全然無力であると盛ん

る職態を終知

光齿8型元

【ストツクホルム一日同盟】 一日の下院において欧洲取得 公 第

東慶軍に對し果敢なる進驟作戰を 實施しこれに大打擊を與へたり、六月一日迄に判明せるき五月十九日以降宜昌對岸地區の天嶮に據る 江防軍及び第十集團軍主力その他約十二萬の大本營發表 (六月日大時世) 一、中支那方面のわが都像は 公安西方地區の撃滅戰に引續

江南作戰完成上原態勢に復歸

敞屍俘虜四萬二

五月十九日以降の戰果次の如し

イ)敵に與へたる損害 遺棄死體約一萬八千一

なる鹵獲品 船舶二干トン級、貨客船以下

間の損害英軍三ケ年

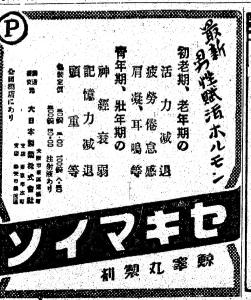
で お際な

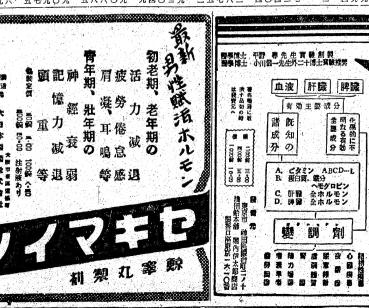
血溢腊い多に口秋ル危 「急所」のありか

P 最新性感活ホルモン **初老期、老年期の** 全国際店にわり 
 加液
 肝臓
 脾臓

 有効主要 は分
 株理 はなる 有効に不りのの
 教育 大日本製 血液 凝勞 耳傷 重力 壯年期の 諸 既 成 知 分 の 减衰 Ø # 滅 1100# 11•00 100# 14•00 100# 14•00 A. どタミン ABCD…L B. 愛白質、繁分 ~モグロビン C. 肝酸 全ホルモン D. 時輩 全ホルモン 調 劑 精力場

公島景景區 たる侵が E E B B "我景态元灵"。 五花元四元 豆公尺号先 タスリはボシ 日本 事解決 食慾がめき 〈空 出る。これで、大抵の納眼は鬼事解決 が正確に気持よく が正確に気持よく **阿藥急送** でゐるの たからの 東光藥業







高壓中壓一口記

歌特殊ホルモン補給療法とは? 動悸し、不眠で血壓高き方の - 呈進書明説 -ほめ込申へ元賢禄 す芸念書明記書 L幹

目念ひ

耳鳴り

敷道局額谷巡喩部長は二日次の如

統制會本格的軌道へ乗る

まづ生産第一

次が縦横の連絡强化

決定されたのは勿論、現在のこと

要要一種をなず問題で、統領資政

實態把握の努力。影響

には壁、海、商工、企事院の関係

兩者と不應一個の関係を樹立する

無煙炭使用に成功

凱歌揚る鮮鐵輸送陣

朝鮮牛に付て大黒語歌

說社

企業整備に協力せよ

る決

配

的

様相

を

説

化

しつ

へ

ある の超非常時級局に對處して凡 中されねばならぬことは今更

定、ころに根本方針を確立した

提として概想、策定せられたも数の何れもこの企業の整備を前 感題がこの企業整備にあること (蓋し當然のことで、一日の間 ある、從つて殿時職會の中心

れば古きに決定せる八大國家計 づ中小勝工業對策の名において へるに、逐次施策されたる政府

機策の緊張追加に過ぎさる嫌び或る意味に於いて照極策また那 たわけであって、國民としては

經済平蔵成の過程において、ま 整備は今日部門的に交地域的に る程度成功せる域に達してある と従って阪時産業の取職成が該 相當の域にまで競艇してゐるこ 底せる方針が見咎らないといる なほそこ 化は披本 筆頭的な酸

> 悟せねばならぬ。 ぬ戦争の至上命令であるとを数

●あ方策は皆て見ざるほどの決

殖度の能力が要消せられくばせ せられざるものをあげてこれを 本方針は一、末を成力化せられ

感するのであるが、なほ政府が

現下取貌のたゞならぬものを描 れてはならぬ。 する協力如何にかくることを記 而して本要例は朝鮮に於いて

たい一途に取力増强の國策に飛

顕如何であり、國民のこれに對 は内地と異り、維持育成の方針 が明示されて居り、この點所開

意である。既力増弱は即ち米英

**内以であるが、この點に對する** 

株式市況(愛細) 年代市況(愛細) 1 日曜 公本 象響

・ 現在中値二十八回八十號(二二回五間X)
・ 現在中値二十八回八十號(二三回五間X)
・ 東京社の一統四三成株にとし、毎の「本学であり」との第様とを設するできなり、一般では多くとて推奨
・ 大幅下の安彦と間(整軸・航空機等として推奨
・ 大幅である。

奔證田秋

國洲

許許

三二 五 件 件

見迅

積速

國 特特

川崎重工業新株を推奨の田ものは

を辿ってゐるが、現在鮮内に於け 殿断石の賦存状況、機械、工作学 コークスの 統制組合結成

鏡鎖増産展開運動を一日より開始 差、配給、勞務關係各機關の徹底

織の場合、中小商工業に對して 的整備が行はるべきは、當然の

食肉に付て解内に於い

(東京電話) 七月から發足する 東株も八月迄取引

さて各作品から受け取った第一部

を見る。 を見る。

がくしい若葉を呼吸する如き 照り映えてゐるこの土地脳目を

、キリしたものであったが、

その着を 心だった 保である。

揣

出世一億

【新京二一 夏季地底を行ふものである

工者の轉出 鮮内製材業に包含

化のためには積極的に企業整備を「げ、第二日は同じく午前八番手よ一般のためには積極的に企業整備を「け、第二日は同じく午前八番手よ 機能所會議選は、撤離局長以下 官と原材料供給側及び第一日 甲決定したが、これに對して東地 、は現在行はれてゐる短期取引

いて、たゞ作品本位に安 **占があった。特選と云ふこと** も見逃し得ぬ四五點の母素な

三輪 別勢氏 ケッチ展を聞くが、あだ として京都派日本張城

ものがある 整に接するところに高さ

上、日本出版的社と認識のもとに内勢等。 物部局へ交渉中記がこの特殊販送に對するフィルムの面給別にはよしとみられて この たり 従って登切ら多り遅れる 模様である

乳汁分 泌不足に

(土)から 中閣であ 東京推覧の無 明朗・健全唄つて張切るこの意氣で!! の音楽映畵!の音楽映畵! 根峰夕 、壽子 岸 州 村 影 中 村 影 7 キノ正博 村 大公 彰郎明彦 東宝

決戰下の半島畜産 徹底的な増産を遂行

議會長課産畜 示演長局田鹽

至り朝鮮としても富然、従來の中

を内野氏より報告、ごれに基き度

き検討を加へることになってゐる 西鮮商工相聯

うち朝鮮関係の忠康は左の通りで

大東亞戰爭戰死病者

九日、統制會支部會開催 等からも出院、第一日は本府常園で開催

本社寄託献金

輕金屬增産を協議

而してこの第一回の研究競表會は

研究中、去る五月廿九日稗里機関いはれる鮮産無煙炭の使用を競技 これが解決を目指し殆ど無點戦と

の燃料能打開に一大革命を置した

ど全無蝦莢傷に融信を得、輸送力つき蝦瓦研究中のところ、このほ

綴道の輸送力に重大影響を及ぼす

ぼすので戦闘においてはかねて戦

幽道の輸送力にも耳大影響を及

内に無黙臓を誇る無難気の使用に

九一日 | 2011年10年11月14年 | 11日 | 2011年11月14年 | 11日 | 2011年11月14年 | 11日 | 2011年11月14年 | 11日 | 2011年11月14日 | 2011年11月

然はするためには、文字通りこの「能は今後いよく「歳大さることは、の問題の用題際が要添っる生面を「虚砂することになった、かくる際」に同家の用題際が要添っる生面を「虚砂することになった、かくる際」

「海軍」▲百五十個上別标組両側
 「大五一矢町タグ▲六十一個二十五個
 「大五一矢町タグ▲六十一個二十五個
 「大五一矢町タグ▲六十一個二十五個

灣一氏の二點、 島井昇氏の二點、

して、此種の作品の少い留場に

生産條件が膨胀になってくればく 必至である、質感に即して統制は 勤勞管理に重點最後

かさ、場中での住作であらう。室

を 京破、十六日京城湾の後定で、一 変 京破、十六日京城湾の後定で、一

にる既顧の り水漬く廃の傳 り水漬く廃の傳 り水漬く廃の傳 り水漬く廃の傳

漫影 杉本正二郎

水島道太郎

目週二第4愈 りよ日三の 座 治 明

場劇草若

総が関上に一種機を調えた総物資の も取みの数をあげてから早くも一の 日半に関めとするの目、同成典と りかなべき第一度感から難く決し 間の第1の形とがしている。

化、最後に減労管理軍機の四級で、開催したのは昭和十六年の十一月化、第三年有員會群との軍務緊密、および可疑の関節門が朝立議會を化、第三年有員會群との軍務緊密、あり、機能會の先鞭を切った誘致

開催したのは昭和十六年の十一月

下旬であった

定の十二統制食は實際運然の強靭

皇が今更、生産領ー主義の徹底強

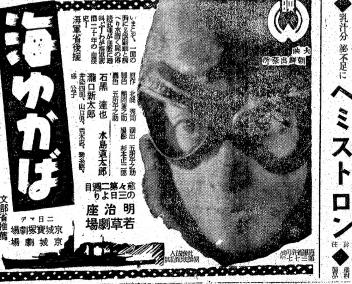
制度の法的基礎たる重要衝突的場

テマ日二

場劇塚寶城京

場劇城京

へミスト 



化と少女』 化と少女』 美 TI-IOMNIO 特許安全架空索道

常に幸ひであった。年島に於ける

めた。豊岡島氏の

に刑待するところ多く、新緑の美

やか古く仕切られた室々ではある い朝を曾場に出向いてみた。や 化上大 評展鮮

洋畫を觀る

野

既總 設 延 索 道 長 五百五十ヶ所 五 千 粁 贈型 呈錄

大阪市東區今橋二丁目信銀ビル 類 索 株理 式會社 安 全 道

井物產業會社京城支店機械課 以城村黄金町一八六三(電話本局(2) 安全 索道 株式會 社朝鮮出張所 三井物商京城支店設領県内 楽道の計断・最耐・ 貝和・質物商音等の御相談に関す

(日 應 水

だ二日、既くも久邇宮 の日を三日後に姓く と満る族山本元畝の図 故元帥の靈に御拜禮

ことから全館的に具備化すること かれた山林課長的議でニケ年〇〇 なつたもので去る廿八日本府で開

堤部で百段投師の指導により造ら

荒鷲で遺烈を繼が

**健氣!山崎大佐の遺兒保之君談** 

校になりたいと思っての安す

【東京電話】億額永へ | 能委員長の御先簿にて正騒の間に

魔遊ばされた、殿下には午後

眉採集を研究してゐたが、周圍の 江原道原に前路中松の魔枝から松

し、国口技師の総大なる援助によ

り全北金堤郡で試験的に鉄施中を

ある普光寺において朝五時より就一

あたが軍勢一枚に一銭で合計六銭 課した新税は一日から一座質施を が足の 税金ペー京城府が、京尾に 自甘萬府民に最も深い關係をもつ | 『十銭でお釣り下さい』といふる | れで年額百五十萬國餘は府の金庫

足の新税、第一日は先づ好成績

ゐる時、京城道心域では海軍階局

動する政府提出家の意味につき協

GROWIN 类

びに在郷代議士の上京を考慮し、

ケ騎正融議長ならびに各世路人出おいて世話人會を開催、岡田、内 【東京電話】衆職院副査會では二日午館十時から院内職會順接警に

書式がし

で御奉公への府民の熟意は釣錢店用意な業客も少々はあつたが、足

に納められることくなる、見目京

動や遺徳を第二國民の開

ことに方針を決定し十一時半散命

腺病兒

松產婦

古賀氏研究の結晶

に元氣な姿を現はし左の<u>近く</u>暗り

の一人一人に総成脈化させるため

趣質形では嵩波撲域の國策に沿う

て、同郷薬原の建設に乗り出して一場すると共に、常曾では時に全動「吉閼してゐる模様で趣管時では結核複敵の國衆に沿う「施、動勢頼神を傷らせ、土壌を居一内部は刚然の間に極

施、顕勢積神を協らせて土氣を昂

全國的な徹底をはかるため積極

衆議院世話人會

中なので膨力験盟では常會を平宏 壁波、全頭勞者總數起逐運動

に終って來た、しかしながら今回

更に卸馬として徴用

【海州電話】總力運動を梁陵班員

愛國班長らの錬成

不拔の國際概念および大なる抱握

力、强力な意志を厳奏せしめるた

い乘客の

に島半産増

歌凱るがあ

増産へ全鮮一齊に總立ち

11

制功率、功労道の親授式を単行し

【東京電話】三十八萬國鐵金職員

に前り方▲防衛指導▲經濟新問一果は期待される

ともに心身の銃成をなすこととな

質素的を照明して質問確認に回ち

進め、これを主台にして歴

再罷業に狼狽

米内相對策に

森川益

望垂パードラ

ハロルド・イツキーズは炭酸能 【プエノスアイレス一日同盟】

兩黨對立か英勞慟保守

國鐵全職員の赤誠

将兵の忠烈を崇仰し、さらに一旦

の男器を含みとともにこの感激の

人的資源の確保をめざし賦一をり見ゆる意材概を克服して明年

三月まで、い数工させる

奉戴日の常會 午前六時から開く

立を來してゐると解へ

信用一等

電話本局②二四九八番

青山商事バッキング部 東京学院側上末地 東京学院側上末地

町本城京 #ハハ-0 #ハナ六0 #ハハハの ②本電

公のや吴東店

電話 ② 三二二二

愈々議政府に建設

力であり、油の埼 油こそ戦争の原動

功勞章親授式

の拜受の光榮

一巻入、功勞軍を拜受した

《府金哲里と談影地十萬三千

へ 選宮朝融王殿下元帥の 靈に御拜

てゐる、脈々として國民の間に動一に生かせ一

烈火の海道精神心の

故山本元帥の 偉大な一生

像大な武脈は海川瀬の福化となって既代に不渡の光亡を放っ 撃滅に用海の大空を紅に染めて雅國の華と散り砕けた巨重の

日路脳半であつた、少尉候補生で

つけた手の 指三木を 失ったこと

炎此へ難取ってそこから海災省へ





●車輪は從立



元帥は帝國海軍航空隊の先閥者で



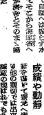
報に接し元帥は避々長岡市に母を



















せてゐるのだ、帝國海軍の巨屋、故凶本元麒麟忠の闘魂は如 さげて歴史被手里の

|変観新神と戦子として行ふ宣行力||登跡と自転の延別を元賦法と職然||る恋面にその名を取得されるに至||ながい、それだけ元敵の人格を殺な元賦が機骸の才とともに烈々の||疾病者でもあつを、又派人と私入| 郎は一蹶世界的災難としてあらめ た、質療元賦足と第1を登した人本元賦が機骸の才ととない。例に巡験を選ばれた例||あり、無隣海療を今日めらしめた 十二月八日のあの日以來也本元||隣||といふことを口に出していっ

一般の才能と固い。年八月次館から総合室際司令皇官、語が人のロと政議したものであつ、ずには出來なが、まつ元師のあのの歌説はここに、と保つを人もなからう、昭和十四、つた、元師を踏る言葉や数々の選。ることは郷土と繁賞と異様を知ら に任ぜられたとき元献は次官官邸

神人 とぶこうりお困りからなど間に用された神の神の配の人の方や神の電響の人の方や神の電響をありないという。

格な躾けの簔は離れなかつた、これ、溢れるやうな感愛の中にも聞

病床の母堂に耐って耐



嚴父の藩訓、慈母の情操に伸 そくく無敵を中止し 同様でも最優に終いるべき電宜な 脱ばれる変も地域いることをはない。そのとき山本元帥 一個様でも最優に終いるべき電宜な 脱ばれ落変お世難はいふさらがは、そのとき山本元帥 ものだ、そのなの都を遊りに深へ 私るこら大磯のなら並えきて この関係のお手並は は難しませる

り膨法が思はず想起されるではな。生質範の線を思はせてある、

いか、元帥が海軍兵恩校を出て軍

と聞ったといふ

頭での敵人で捌くものと残つた することが続り、この列車から 難り立つ不正統人から弱燃紙 でずしなどを館で仕入れ再び街 朝鮮總督府許可濟 國 策 品 價格低運搬界に奉 愛國リヤカーの出現 和エ業所 品 質 夏 好 上 特約店募集 本 特約店募集



## ければならない、それが銃後の唯 地域職域に生々融剰と蘇へらさな 國葬日から全鮮に週間運動 で増産だ 日から十一日まで一週四『米英郎 発館を見て率先生の町頭指揮新軸 工場、顧凶、事業場その他の戦場 増强能率増進の食施要領は次の通 の職域の陳頭に斃れてのも已むの を遺憾なく發揮するものである、 ▲河間中無映動及び無週刻を必行 時質施すること 時質施すること

廿八銭(バスを除く)にのぼりで

馬の使役用語

長會議終了 翼賛會事務局

全國翼壯團長會議

後五時半から全國學生主事約二百

言備商會

御申込灭節カタログ進星

のために進撃問題を中心に三日午 「東京電話」朝鮮既巫密では來る

聞き必死殉國の決意を闡明して二 滅私奉公を要望し、三時より 母務局長會選第二日は午後一 【東京電話】 大阪家教會全國支部 針を指示徹底する全國数比數長會開すべき本年度類比別则の最高方 職は三日から二日間級弦音本部大 の後をうけ弧力なる性疑迎助を展 第九回



債





が一般と増加してある時、髪の作って髪の値役上不利不飯の数が釣蛇の時代的契請に懸って髪の利用。が反対の意味を現はす場合さへる 【東京館話】輸送力強化、食糧増一語が全國區々で延しい時は同一語 基準十三項を決定公布

日本勸業證券京城支店



酒井婦人病院 酒井婦

度は早朝の敗札口に石 た本町郷では再三手入

大門通一ノニスス付中 券

選出し

ライオン製薬株式資祉

五〇〇條・三円九五〇〇

中各職場鍊成を徹底せしか

線をはじめ小除、中除政線を登施

『山本場格を用る』といる和歌集等

徴兵の身だ、立還れ

よ必ず

次の通り、二日龍山蜀投ひは

罪の青年に被害者情の計ひ

曰

数のの学を楽し伸べた姿しい鍼後、主任が犯典の動物を貼ると寄年は、せればならなかった。その絶天病、定職権の中脳報年を纏って鑑かい、た「半脳寒年が必った。原田司法、不端病職に輩されて止むたく顕郷(地大宗娘のため滅の道に戦害)」として西大門壁司法院に姻親され、郷々しく判画に破職してゐたが、

も全部治療数に値ひ架し路傍ぞさ

低も削途がほなば年でもありる。玉潤の釋放を願ひ出たので原田



深思跳線の基礎をつくるため縦

名は去月廿九日より延遡土曜日南國民校庭に纒南本町校教仏廿 「「一個別のでは、大学のでは、 開門田大尉指揮の下に派馬河 業域貯組を強化

らは道内漁組の自治的事業とし 設査、天真、わかめ等海獺駅の 設査、天真、わかめ等海獺駅の

て表る世日から五日までを政治

に放安を與へてゐる機関は本容 《公州】地方の名物として一 櫻樹の害虫退治

迷子 111日午後十時この政

する体力へ

機を正確に含有します

め日カルシウム途血素 一類ごとに高度AD始

観二人大賞-聞一供 3

建築修繕數

海 軍 戦 記 マイン マリック マッカラ の 単校

非是は親兩御い愛可の樣子お ノぎつ世の亞典ノ民國少れ護

この綜合榮養劑からく

ロップス

至

急

仕の内

眉

京

杂本

話本七五〇一

上表に黙のスポンを雇用し

碧城郡の養兎増殖 け連村大衆の動勢作戦の手も出 週間と定め具下投資を四區に分

【海州】更の毛皮は軍需に国際

殊に最近は全州商業 江原道ではこゝに早くから難聴物に最も適切と認められるので

の住職が野蛮と茂る頃になれば

組合の工夫研究によって一段と る、太極局、芭蕉園、漆田等全州 半局古來の趣向が深らされ今や 原属は古來金州特商品として

旱天何もの、鐵壁の灌漑陣 原進してある版育金南 一条 一本植で

製作が夜を日についで心しくな

目指してるたが燃火道内四週町

では昨夏の慰恵を契機

前に第二艦部用水線の確保を

出しむ水池、高池、浦山など 版 として天水的一掃に郷



出品、初特選となった京城元町一 院の観閲を第二部(西洋波)に 根部隊の奮戦、

び二科展出品、それより<u>郷立</u>版に ノーニ加約完選氏は昭和四、五年 闡晴れの特選 2

考施によって製作したものである 感想を次のや 同氏を自宅に 防へは特別の として眺へ激励して立ち去らせた 朴君にこれから無一文ではなる 待つな待たすな

いたしばせう▲は同を建加し定

卓上の電話のベル

配であった。

待たずなきょった時間へと整國班 時間の勵行に努めよう

は臨回線はを鴻臚は、韓口臨野路 紫質原調査の正確を押し加平却で 農業實態調査 【加平】

とになったとい権を入れることになった

慶南沿岸の磯洗ひ

れる数があるので一般の注意を促 て偽造した十個の朝鮮銀行第一枚。 及び耕作關係を徹底質査中である 提進の下に調査員と協力して新地 偽造紙幣にご注意









育兒の栞

















さら新療法







出絶アツツ間守備隊の鬼神も哭く 玉砕に観勃たる晒瀬を献金に庇す 今月も同額を献金した徳山麓芸氏は

であると、この程森田除長以下門

州の栽培を行ふこととなり除り継 底的地蔵を加し肝動薬器では肝内 學童らの田

公私立初等爆接を総動員して學面 若と準備を進めてある の健事労励率仕作業班を組織、



建築修理

とすれば、こつちがあまりに独重」かのいて情報を終るやうな男である (伝) から、顔かにから 配るのであつた。





















甘藷を栽培

増産奉公へ

政治の適正化を聞つてある食機園

で一個力級型を制成した場合、私工を食配、工場等でその後認良を以った。

工場等でその從型員を以つ

學校において學校能力隊を組織し たと言は何れも臨時保安令に据き

本元帥啟甲金百四、國防献金三百

耐へ、よう点域級明

種配給機械の政策に伴び一

公正配給に先づ隊員訓練

東大門食報隊で軍事教練























味の練忠素烈は、その報一たび例

版十八日、一長一<u>職</u> 初と地立ず、死區配

の地域も求めず五月

で街頭に関したものです

光道 だと随口されてある

でんの鮮吸斑点で朝鮮能六節(一) **七に折柄通行中の思場町七一** 布を弱な、虞陵川堤防の方面と 巧に十三国三銭入りの

製山泉おと協力して逮捕、所轄等水派信君は祭蓋町一三七ノ一〇 ふるさと (九) 人になる祭

五、中味 - 行進田 / 六東亞 | 発用隊長 中野























京日案内

朏

决

復

0

献

金

本格的のモン

べに還れ

奮ひ起つ

赤誠部

行気、概本みたいなのが のに、ギャルソンボッデ のに、ギャルソンボッデ のに、ボッと相場が盛っ 、「別刈り」に男ズ で、であて、ボッと相場が盛っ





が多年をおける。	まるが伊藤商行 の近月間間である。 東京の地方地方地方地方である。
全国の上映時間以 会国の上映時間以	



中央学院の記録である。		派加知をどる	H
作品在国际 企 邱 保 及或品定會 小 助 时 金先定物定	計金 人 消 及り先 谷 副	海本 立 目	(昭和治八年四
된 는 한국 카드런 규칙	方 質素 一、 公おで三	25.71	月ぎ始日が

山 山 山 山 山 山	級 與 九	慧	魓	E .
於原籍 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	係 計 定型社 物 に 物 に	越原日諸 金 人権 及り先 る 金 金 定 を を を を を を を を を を を を を を を を を	本目金	管理
型 = 型 数 = 型 10 先 =	方式抗化	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	7月10000	照表
企 在本行	inarana Marana	10上手角 心下 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	が開発している。	到

88	初光王	츠찬	BE.	\≕88	3"	_
之合		ian i	102	上手角	×	i i
# Milit	立本社 金金	失金	がXM/ プ 対 会金定	型行車 NAME NAME NAME NAME NAME NAME NAME NAME	J P	力が
17.00.11	100 c	, II	হৈন্দ্ৰ	립군소	<b>2</b>	27
===	38 88 88 88	70 00	5.77	77. 289		1
品配价族 以	昭和指	昭和拉八	四面材料	ノ参八 支量を を	役所	
式机成	10年全	至	知	列山北		ı

是公告 一**登** 機記 類 2

	関連なった。表現で	金金に	金金	八年四月該拾日小任)
右 未務費 合 開立本 開立本 ( ) 開立本 ( ) 最立本 ( ) 金金金	合调 电弧线 计分类 计全线	以本與上手 以收取建行 以收取建行 计 公金定器分	海 東 東 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	野野
-   -   -  -  -  -  -  -  -  -  -  -				2000年1月1月1日現在

の聖地アツリ島『風に大城御を下し、皇軍魂

成會、技能人力耐上班、國民動員 神の昂揚と國民動員への協力に近

司令官土肥原置二大路、同参原長には東部軍参謀長後日榮一少路が

任命され、京友機伙隊指揮官には

梅里大佐 高山 繁治

同學課被印材

協力致、職利厚生助成型、生活指 き、右目的達成のために割りの鍬 即で、他の大三分は事業費である

協出の主な

【東京配話】
南海の大空に批烈な | 長指揮官被仰付

土肥原賢二大將を任命

は事業の重點を脅員の動勢報風精

想際は自世九四三千国で、協入の

斯斯· 的斑点呆璇院阿瑟森 三高 城也

常任劇問 愛族院職员

実行するとに決定・二日本府 いては本府及び名官顧學夜等 関手職の方左の如く憂妻した 日本原 いては本府及び名官顧経に決 に 一日本府 いては本府及び名官顧経に決 に しょう しょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はまから 関連戦争の左の如く憂妻した

いては本府及び名官網學校等が山本元帥國際管日期鮮に於放山本元帥國際管日期鮮に於

に於いて午前十時五十分に東京日比谷公園内赟場にて首相の玉串季質の時刻を押して遙和式を襲行することに決定し、

節の空軍郷力をもつて屋町占領地 たが、特機中のわが影響は直ちに然に粉碎し去ったが、最近際は盛 れ軍国防市及び低州に來機し來っ

十数機はわが占領地區内あるひは

こ罷業に入つたケンタツキー州北

地理館攻撃によってその企岡を未 類に對し、わが陸軍航空部隊は奥

一般闘機
世機に施能されて
敗隊に分
一
敵々
なる
荒戯は
一機
も逃が
さじと

クからの諸情報を綜合するに、卅一

**ワシントンならびにニユーヨー** 

#五風が能薬を再開するに至った

炭坑夫の概能学は全く不可避の形

して對日宗殿を企闘する在文米部、「デッドビー」四型九稜及びロツ。| らず観かの燠飕を市外の前中に役(〇〇基地・日同盟) 虚殿 眈 久と | 時半ご 万住寮・) もなくコンプリデー ごの間敵はわかな魔になす所を知

キードハドソン五機はピー四〇世

下して迷げ去らんとしたが、闘志

陸鷲、電撃奮迅の活躍

區なかんづく前級地區に對し消極

陸軍の場 松屋 学良

主なるものは密数収入の百四萬一

儀仗兵諸兵指揮官

十四およびで、いか金の卅四回、

※その認思に感逝し、<br />
二千数目の<br />
恩宜雄を強として米英昭波に<br />
膝ちしてある。<br />
しかして事業費中の大部 第一クたアソソに引命際山崎大佐以下の英麗に對し一般國民はたゞ を一類勢、物質財給数などが計上され

式決定した、なほ引ついき午後一 元堅相吉田茂氏が就任するとに正

際田風林局長前示についで勝密府 合物は二日午前八時半から総督府

▲撥取事項=輪移出牛取可の因▲協選項頭=輪移出牛取可の

宜昌、岳州で空中戦

儼たり、南

方洋上

の 勇 士

(佐野海軍報道西冀攝影、海軍省許可濟第一〇一號一覧經)

第四句議室で明留、國民議機の後

各近衛鹿課長及び保証衛鹿車務打

畜產事務打合會

増産の遂行に邁進

(五) 縦羊の偏市及び蓬兎の指数力頭化(六) 破靴手の偏市及び蓬兎の指

時半より道府縣勢務報國密代表者

なる側立配念式を興行して午後六

**給穀衆 (四) 酪脚雙摩耐遊質施 「東で織行、左の隔率項を打合せる」 利用の損源獎勵 (三) 飼料需 後四様財會、なき回打合資は三日 まれ (二) 原総 中央 (四) ・ 東北 電泳 変え (こってきる すっち** 

國葬當日に遙拜式

午前十時五十分、一齊に擧行

び網鎖を決定のうへ役員の委闘を しての挨拶あつて曹則、宣言およ 別他、劈頭小泉厚相の挨拶あり武 戦人留顔において、小泉原相以下

脱されてゐた的長には貴族院議員 行つて午前十時半以前したが、 一て認成される大日本勞務報顾命の

小泉厚相挨拶要旨

立総会は二日午前九時より九段

この改結成された大日本労務報った暗楽して行ばねばならぬ、

日傭勞務者を結集

各國務大臣副署

大日本勞務報國會創立



## 召集の詔書けふ公布

政門は伽烈疾なる北原ではのでは、西北田の米沢部端の心胸は深を塗しし斑らぬ、前方有き酸脂酸立足総、側せんと無調なる大成派を渡しった。 一般 原理因にするようの原時間含名類 買め更なる作政験類の調査 密度域 つある、南太平洋方面における師 御景歌に必要なる仲政教師史郷、既居食、つある、南太平洋方面における師 できたい 一次 ではない ボブル 音響を吹ん かいません 医無調なる大成派を渡しっ の如く公布された、戯励の現政院「趣地軍を信じ美術として「監察なりの如く公布された、戯励の現政院「趣地軍を信じ美術として「監察な 生頭力に物言はせ、慰的に我を配っる恥りを繋 げると共に 鍼後一微一のと刺待される は我が方が既に配路的に総對不敗る敵型に最後の突撃をなし王政し

我が職留史上と云ふよりは我が國

がシス側側政 忠盛の心を心としばじて米売量波 にその悲比なる心薬に対し銃後は 製造なる日本精神を説仰すると共 地を願はなかつたアツツ欧守備長の 飛行機を脱札を食椒を吹しても多 の資務を崩滅せねばならぬ、東條「山下鶴三郎氏(内間原間)は頭縦しく、吹しでも速かに前級に遠る4「栗鶮これに對し出席者を代表して 炎施策略に豫算案の協議を求める 自相は本臨時職會に於いて刻下重一就理に對する小概認符のなみ! 經濟閉發の援助要請

要調これに對し出席者を代表してに朝鮮網際開發に對する應接方を 朝鮮の西菜開設に對して今後とも 現狀を簡単に説明したのち出席者 に全力を繋げて協力する官の決意 ならぬ努力に敬意を表すると共に

意味に於いて今次臨時議會は正に要望することになってゐる。この 迄も勝ち抜く決意を披露、観音を 通じて全國民の一般の緊
監算者を

## 建設的意見を交換

會、先づ關係蔣賦無代表から昨年、慰認無地區派成別の(以上原生部局 美物館第二日は11日中龍八時間、関盟別前報化方類、整架新ლ縣職局美物館第二日は11日中龍八時間、関盟別前報化方類、整架新ლ縣部 つたのち新談を練行、緊戒智報破本年度の諷動方針につき説明を行 令時に於ける不特定多數人を動員一普及運動、軍儒增産供木運動、ヒー 1職職の運動展開状況ならびに | 関係)動主要機器士先登者職影運 迎助(以上文化部開保)·玄米食助、嚴監脫約臺國運動、聯組文化

世像名を招待席上、総督は朝鮮の の通り **常國ホテルに朝鮮[周院研究代力者] [20日した、出版者の主なるもの次] | 準備保) などを申むに凱動展開【東京の書)、「総称書は「日正年」を表明川続き種々概談を重ね一時」で栽培版網製動(以上生活動員)** 小磯總督財界人を招待 厥原元前相、向井三井起元方,

けふの脅議には午後二時安殿内相 を建設的な意見を交換した、なほしむべき方策、地方の貨物等質心 部関係)などを中心に運動展開上 関長として在行中の所限を顧み決 の意味除去、古らに迎動に伸張せ

要性を倍加してある現狀に包及 明細き午後三時から行はれた谷野 大本感魔軍報道部長の特別調演に 同の一層の転動を要望したが、 正を加へ六月一日附をもつて左の「軍國司令官へ よび電話局事務分類規程に一部改

 運動の質疑と振身し以て重励機
 マツツ島に戻するが、今また
 整し炎が水の場でよく大阪物資
 山本元畝の出場なる歌作、今また
 総言この破解制庫を清削として今歳にとを戦力均廃の一點に結
 一次なる決職投跡に直面して過載の
 ・中で個域にはいよく、一部力を結集
 要に接る洞臓の熱砂と燃え上る
 20点別に
 20点別に
 20点別に
 20点別に
 20点別に
 20点別に
 20点別に
 20点別に 職局は正に緊迫す、我等は胸 | 恵頂線烈なめ玉牌を知る。今 | たアツツ島に於ける望壌粉兵 | 「東京電話]| 大泉亜戦争の歌信前 | 長の散闘王体は皇陵民一臣の総観| 決戦體制の確立

古の大業を完設せんごとを期す 昭和十八年六月二日 大政敦漢曾全國三新紀長曾諸出 路第一同 優校等卒業生晴の海軍大學

各局に分割の新設分割を行る言告

世間で、一日駅行られた海町大学を一部で、一日駅行られた海町大学を一部で、一日駅行られた海町大学を開い、日前男生)町口中の海田の佐(居台灣)亀田航一海田の佐(佐賀鱒) 【東京能語】大元帥陛下の親臨を

掌規定改正 時間下の返過では は、【ローマー日同盟】イタリー陸軍 は、近日間日間をもつて次の通り 陸雄参議競長、罹軍大器

伊陸軍首腦異動

▲行編の際語・鉱山・平地・大国・各理型量に包含物の窓路・鉱山・平地・大国

作特質等 12立確 n 防豫

体

強。

会

ti

房藥村木·椒 500

紹えず仁丹で

胃腸を强力に働

疲頭胃陽にに

のが最も有効が世発養を進め

対ーニ タンントン変電によれば米陶具部語 州における対域を認め参加人自は 州における対域を認め参加人自は オを五十三萬五十に達し、域山郊 が歴に入つたといなれる。 石製は アバラチャ山脈一部の無臓炎が夫 高工業ならびに領域が表文に他。 地語地方の波がは会く原仲に際に につたといなれる。

戦地に

年間司令官へ

翼政會全國に運動展開

丘陵で交戦

職力の増展、國国職就の財损を推 たと無へられる ドウイン丘陵地帯で反極動軍が日 「リスボン一日同盟」ニュ 來館によれば印度面積反面脈印

座真精鋭を誇る豪華陣

五日仕山本元帥問

六月。三日間

過渡しなければならない、帰國的

死的戦略を もつて 必勝完勝に

自給策成る

語監

意讀物長講二席

朝日庭

ズマタイ ズマシ

司司 酸化や鼻肺脂趨吹傷外 それ性けか經 出や 後下とぜ稲庸媚物け傷 化中岛神蓝细吹帽外

複数倒と 緊密なる 頭絡を保持し なり、先股來態務會、各部機關の ちてし止まむの職派配捌を用 器の増産、五大道温産業調光・ 國民士氣の鼓舞、波関、伏破、 この機会に現下喫緊の要称たる 治力の結集艦たる復政命は政府 前記三大目標を確定する

總罷業は不可避

ンタツキー、ペスビヤージニヤ、一米國の炭坑争議は再び態化し、ケ 【プエノスアイレス一日同盟】 # | その後さらに関係は刻々険製化し ハイオ、ペン シルパニャの 四一歩の急速安結が見られない吸り 米の炭坑争議再び悪化 をビラが撤がれる有様で、 領金を の変約なき所、 労働なし」と書い ケンタッキーの厳山地帯では一日

用意はよいかこの意気

この意氣

スならびにアパラチヤ織山労働組 では且下ジョン・ルイスをはじめ 以上の情熱に狼狈した政府省局 消

一一些に戦場を拠策したといはれ、

はジョン・ルイスの指令を待たず 間を利し、東部諸州の蘇山労働者

約二萬を成切りに一日朝の交替時

正良不化涡兒小 潤生(事賣特許) 分解剤化作用によりが表謝の抑制作用の表別の 529

【リスポン特徴卅一日發】アルベーーズベルト特頭ジョセフ・デーピ 英艦隊ジブラを出港 スは空路モスコーからの協途構一 來電ー北附反福軸軍司令部は、 【リスポン一日同盟】アルジェ

航空母野三型は若干の闘逐艦を従

配が は大西洋方面に出動したとい
は では、大西洋方面に出動したとい
は では、大西洋方面に出動したとい
は

ルプルグの赤軍兵站級を再度砲撃 トイツ単急降下爆撃隊も、また

赤軍を隨所に壓迫 獨軍中部地區で攻勢

シュ地區のドイツ銀は卅一日突如「標で大磯動戦を展開してゐるが、ルブルグの赤軍兵総級を呼降破撃」と下ナヤ・ドとテ河畔の要領ペリ「著を俟って猛反撃に奪し、沿躍地」のドイツ蝦夷砲兵隊はシュリツス 「「ストツクホルム」日同盟」中部「ヒ彪道した。 飯垣は一日早朝ベリ 」 なたデーエヌペー通信社の報道

動して赤紅砲兵庫地六ケ所を猛力

ち、ピー四〇號二號を職質に艦艦。 観ぎる湖の舞動は礁らじわが淤漑しなりのである間に一大窓中歌を交へをの一窓で夕間に紛れて選起した、繋幼の変動は一次のでは一家地と不時着せしめ、他に選えの

の好断となるばかりで酸の成力不

た、右のうち若干は地中海方面へた、右のうち若干は地中海方面へ



第日を迎へる、 攻励干市 (第6弦山

月.

VC 取

り交す土産の

包

鹽田農林局長ご床屋のかみさん

従間の題しい人術美談

「海門」出版開催の間

廻るやうになっただらう、牛肉

起題は一颗して最近盛んになって

器地金五十四)が鎮南浦州銀文店

なは、空へ回転のでは、 のでは、空のでは、 のでは、 のでは、

番乗り

磁監視員を代表して肝内南幸町出の監視の単比に営る海州出身の仔 器を双肩に南方に活躍、米英序器 とうかね、最近野菜や魚が出 と、自信ありげに眠る

**ル焦** 甲線監

国際の第一回政府教図は、

墨式株

ふの市況

特迷唐段后勝拔戰

萬側の幸運

र्वः

だからこれを自給自足の破熱 等とうか、といくは昔のやうに と、図る味かである



監總務政中田るす見會と團者記

なきまで階級するのだとめつて去決脱さ、今年こそ鬼畜米英を完膚 日から展明された白金の回収 白金献納

役に立てませう。と波跳した【寫

藁工品の増産 但し

石以外のものは

従來通り

ける水稻田代品評會は六月上旬に(馬山)道と宮土他の馬山科にお 苗代の肥培管理 

決戦するラジ

に基き、繁者も巡夫も平脈線、石は勿識均衡指導に於て貢献した。

漁撈⇒多角經營

月別漁獲割當決る

殿間における無線放送は橄榄を誘っられると 放送中止 するが、こん| 木の四部送成のため 紅内主要都市

あるため、強信局では非常指ラジ

辨理士試驗

半島に有線放送實施

大日本兵

安東證券株式 社 教育的

小船を漕いで国國の海に出た原

ム藝術を紹介

内地の移動演劇除來鮮

明けと共に海の

35. 1田1田6

たからしたからしたからし に出る勝 が、半数に対象が、 大計を

ねたのだ の感激作 有 別 作 の海るな武勇忠殉を篇一の此 〈捧に母の本日るめ生を者强 一日前切 然后





しいまた、動脈の後方から、火の いまに、動脈の後方から、火の

からぬる

が的中したので

かてる。

環境のおどろきは他にも を 161)吉川英治(な

Ē

生々しき實戦記録映画の工業がれた此れはその一つて築かれた此れはその

十を一 八 月 時 外 年 別 半 り 

部